










10/25 第一部 浅利香津代の朗読『佐藤貞子〜秋田おばこ物語〜』 ①佐藤貞子の生涯を浅利香津代さんが朗読。②貞子晩年の弟子高橋キヌ子社中の踊り。
第三部『北浦花開く大地のうた』 ③筏節 ④石神番楽 ⑤梵天奉納唄 ⑥かけ唄のほか北浦地方に伝わる民謡、芸能が次々と披露された。

佐藤貞子〜秋田おばこ物語〜
 「秋田は民謡の宝庫！仙北が生んだお貞この生涯」
 昭和初期に全国を巡業し、おばこ節を世に広めた佐藤貞子。第一部は、女優・浅利香津代さんが貞子の生涯を朗読で紹介。第二部は暮らしの中で親しまれ、伝えられてきた仙北の歌や踊りを、地元芸能団体、生保内小学校、アーティストの皆さんが、次々と舞台で披露しました。







10/6・9 文学講座 ③ ④
10/26 調べ学習コンクール ① ②
10/16 児童文学作家『斎藤隆介』の世界 ③ ④ ⑤ ⑥

①特別講演 西木正明×森絵都「自分はなぜ作家になったか」②調べ学習受賞者による発表。③文学講座が2回開講された。④高橋秀晴講師（秋田県立大学教授）「もし新潮社がなかったらー近代文学史の中の佐藤義亮ー」⑤北条常久講師（秋田県生涯学習センターシニアコーディネーター）「伊藤永之介の新潮社文芸賞『鷲』」⑥「グループかぜ」代表谷京子講師の朗読公演。

秋田の文学について知ろう
 「秋の小京都とともに文学を語ろう」
 新潮社を創設した佐藤義亮は仙北市角館町岩瀬町出身。郷土が誇る先人の顕彰を目的に建設された新潮社記念文学館で「秋田にゆかりの作家パネル展」が開催されたほか、総合情報センターでは文学講座、朗読公演など、多方面から文学に親しむ企画が用意され、文学ファンをはじめ大勢の方が各会場に訪れました。







10/4〜11/3 秋田蘭画展 ④
9/20〜11/20 佐竹北家時代展 ⑤

①秋田蘭画について、時代背景や関連した人々の人間模様などが語られた記念講演会・シンポジウム。②記念講演を行った田中優子講師（法政大学総長）③佐竹知事も参加してパネルディスカッションが行われた。④平福記念美術館に秋田蘭画をはじめ貴重な資料が展示された。⑤榊細工伝承館で開催され、佐竹北家や武家に伝世する資料、名品が多数展示された。

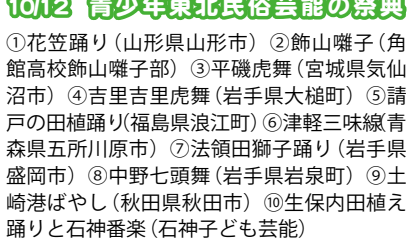
江戸に花開いた秋田の文化
 「秋田蘭画と佐竹北家」
 江戸後期に平賀源内が角館を訪れたことに端を発し、小田野直武・秋田藩主佐竹義敦らを中心に陰影法、遠近法などの洋画法を取り入れ、秋田で生まれた新しい日本画の形「秋田蘭画」について講演。パネルディスカッションなどで多角的に検証。新たな視点で作品を見ると、興味深い発見がいくつもありました。



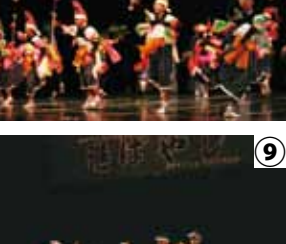




民俗芸能の祭典
 「芸能の宝庫・仙北から東北の明日を」
 3年前の東日本大震災で被害を受けた太平洋沿岸の地で、芸能復活の声が聞かれるようになりました。青少年東北民俗芸能の祭典では、東北各地で芸能に取り組み子どもたち10団体が集まり、若さあふれる芸能を披露。飾山囃子と仙北地方のささら大競演会では、14の飾山囃子の団体と、特別出演2団体のほか9のささら団体が、絶好の秋晴れのもと、見事な踊りや舞いを披露しました。







10/12 青少年東北民俗芸能の祭典 ①花笠踊り（山形県山形市）②飾山囃子（角館高校飾山囃子部）③平磯虎舞（宮城県気仙沼市）④吉里吉里虎舞（岩手県大槌町）⑤請戸の田植踊り（福島県浪江町）⑥津軽三味線青森県五所川原市）⑦法領田獅子踊り（岩手県盛岡市）⑧中野七頭舞（岩手県岩泉町）⑨土崎港ばやし（秋田県秋田市）⑩生保内田植え踊りと石神番楽（石神子ども芸能）







10/26 飾山囃子と仙北地方のささら大競演会 ①おやま囃子青年部の寄せ太鼓。②秋田おばこが一堂に介して踊りを披露。③上京鹿子踊（岩手県大槌町）④梅沢ささら（田沢湖梅沢）⑤早稲谷鹿踊（宮城県気仙沼市）⑥ささら町内まで渡り。

「第29回国民文化祭・あきた2014」
「発見×創造 もうひとつの秋田」
文化を旅した1か月

国民文化祭は、日本中で様々な文化活動に親しんでいる個人や団体が集まり、日頃の活動の成果を発表する機会を提供すると共に、交流を深めることにより文化活動を盛り上げ、新たな文化の創造を促すことを目的とした「日本最大の文化祭」です。29回を数える国民文化祭。今年は秋田県での開催となり、10月4日から11月3日の期間中、県内各地で多彩な催しが開かれ、仙北市では10の事業のほか4つの県民参加事業が開催され、たくさんの方々为国文祭を楽しみました。

大正琴の祭典

「湖面をわたり、山々に響け大正琴の調べ」

大正琴の愛好者は100万人とも言われています。今回は全国から42の団体が出演。生保内小学校、神代小学校の児童たちが地元民謡を演奏したオープニングから、県内団体の合同演奏に合わせ、生保内中学校生徒が歌う秋田県民歌でのフィナーレまで、大正琴に親しんだ2日間でした。



①オープニングの様子。②③出演団体が趣向を凝らし演奏。④フィナーレの演奏は会場が一体となった秋田県民歌。



11/3 ファイナーイベント「美の国あきた 文化の彩り」 国民文化祭・あきた2014を締めくくるファイナーイベントが秋田市で開催され、秋田県の国指定重要無形民俗文化財が集合し実演、披露した。仙北市からはイタヤ細工と「角館祭りのやま行事」の曳山2台が出演しました。秋田駅前広小路で披露した飾山囃子ややまぶつけに、詰めかけた観客から歓声が沸き上がっていました。



田沢湖・角館短歌大会

「豊饒なる風土、文学とことばの祭典」

豊かな自然と文化が息づく仙北市には多くの歌人が訪れています。この地で短歌大会を開催し、国内外から応募のあった9,298首の作品の中から、一般の部と小中高校生の部で文部科学大臣賞をはじめ13の賞の表彰式と記念講演を開催。記念講演では、佐佐木幸綱氏や俵万智氏、平野啓子氏の鼎談で、人を引きつける短歌の魅力が語られました。



①記念講演「歌の力」で短歌の魅力を語る講師の皆さん。②11日には市内歌碑めぐりが行われた。

仙北市内の入賞者は次の方々です。〈敬称略〉**一般の部 特選** 高橋イデ子(田沢湖) 秀逸 梅田栄子、大山文穂(田沢湖) **入選** 浦山和子、鈴木幸子(田沢湖) 藤原ユリ子(角館町) **小中高校生の部 特選** 鈴木夕奈(神代小) 田中璃桜(西明寺小) 鈴木めぐみ(角館高) **秀逸** 菅木優、瀧原りりこ、田口璃空、千葉耀斗、渡部怜(生保内小) 加藤楓(角館中) 伊藤誓真、加賀屋侑里、佐藤咲、高橋あやか、高橋梨佳子、藤川晃志、藤原夏菜(角館高) **入選** 平岡幸奈、遠藤夕采(神代小) 稲田啓人(生保内中) 石川亜衣梨、伊藤佑香、伊藤幹毅、柏木涼、小松峻、佐藤天嶺、柴田菜奈子、信田有香、下田昂、鷹觜菜菜子、高橋生真、高橋加奈、高野七星、平澤みく、藤田佳穂、藤原夏菜、松本春南、三浦蓮之介、山手まどか、湯澤瑠奈、渡邊謙太(角館高) 進藤彩香、若松春佳(角館高定時制)

おもてなし事業
「えぐ来てけだんす」
秋田県の玄関口、新幹線停車駅が2つあるこの仙北市で、全国各地から訪れたお客さまを、笑顔でお迎えしました。



①各事業開催施設に花いっぱいのおもてなし。②駅前におもてなし案内所を設置。③田沢湖駅にて足湯のサービス。④⑤駅に到着したお客さまに芸能や振る舞いのおもてなし。

これからも文化を 守り伝えるために

豊富な文化資源を誇る仙北市。今回、多数の事業を企画し準備を進めてきました。各事業の企画委員の皆さんが、長い間準備を整えてきた努力が実り、各事業とも大勢の来場者が詰めかけ大盛況でした。日々の暮らしの中から育まれてきた、この地方の文化。改めて触れることができた1か月となりました。これからもしっかりと引き継いでいきたいものです。

10/6～10/19 紙風船コミュニティアート



①案山子アートと、角館高校美術コースの生徒デザインのラッピング車両。②紙風船上げコミュニティアートにはたくさんの方が参加。③角館高校書道部の書道パフォーマンス。④内陸線の駅に様々なアートパネルを展示。⑤⑥落ち葉や小枝などを使い思い思いの作品を作り上げた。



①②ネオ・クラシック！カクノダテ2014(10/17～24)、かくのだてまちなかミュージアム(10/26～11/3)の二つのイベントがリレー開催。③総合案内所にも作品展示。角館高校生が案内した。④角館小学校金管バンド部ドリームハーモニーのバレード。⑤「蔵の音画使」菅原弘明とハル旅団 ⑥「蔵の中の音楽会」平かずみとスイングチェアーズの演奏が行われた。



①餅つき体験では子どもたちが次々と挑戦し順番待ちの列ができた。②③もちっこ＆がっこバイキングは大盛況。お餅もがっこもたくさんの種類が用意されたが、人気のあるものはあっという間になくなり、次々と運び込まれた。④この日を楽しみに駆けつけた皆さんで満席。⑤餅まきの様子。参加者は皆大きく手を広げてお餅を待ち構えていた。

内陸線アート

「私たちの普段着の町・地域」

平成元年に、角館と鷹巣を結ぶ全線が開通した内陸線。人々の暮らしを繋げてきました。里山の中を走る内陸線を活用して、乗って×見て×感じて×撮って×描いて×笑って」とたくさんの方の催しを開催。アートを体験し、みんなで作品を作る。事業参加者の笑顔がとても印象的でした。

アートdeまちあるき

「歴史とアート、新しい出会い！かわらぬ想いが、カクノダテをかえる」
角館の町並みにアート作品が映える。国内外で活躍する現代アーティスト、仙北市出身の若手作家の作品が制作、公開されました。歴史ある町並みとアート作品が、お互いに新たな魅力を引き出しました。蔵を会場に音楽の生演奏イベントも行われ、町全体が素敵なミュージアムとなりました。

せんぼく「餅っこ三昧」

せんぼく「もちっこ＆がっこ」バイキング

北浦地域の家庭で受け継がれてきた様々な餅料理が並び、自慢のがっこ(漬け物)と併せて大好評。参加者は次々と多彩な餅料理を小皿に取っては味わっていました。会場の一角では白と杵での餅つきや餅まきも行われ、なかなかできない体験に大人も子どもも夢中になっていました。

